

BOX AiR

AiR
×
スターチャイルド
×
講談社BOX

第一回合同選考会議録!!



2010年12月某日

会議参加者

講談社 BOX編集七名 (BOX編)、スターチャイルド三名 (SC)、AIR (H田)、講談社映像制作部

目指せデビュー→単行本→アニメ化実現！

司会 では講談社BOX（以下BOX編）、スターチャイルド（以下SC）、AIR（以下H田）による選考会議を始めます！ 今回の選考にあたっては、まず応募基準を満たした九十四作品のなかから、最終選考に残った八本を皆で審議してBOX・AIR新人賞をこの場で決めましょう。それからスターチャイルドさんにはアニメ化できるものがこの中にあるかどうか、独自の視点で話してもらいたいと思います。

応募者の側に立った場合、①デビューしてBOX・AIRに掲載され②単行本が出版される。それから③アニメ化が実現する。この3つが実現するトリプルサクセスというのが最も嬉しいわけなんですけれども、そのルートを実現するためには応募者にどのようなものを編集部として書いてほしいのか、というメッセージがこの会議の中で読者に伝わるようにしていきたいですね。

一同 宜しく願います！

司会 ではまず最初は『Suicide Forest』からいきますか。

BOX編 タイトル「自殺者の森」と非常に一発目から暗いですが（笑）。話を要約すると主人公は自殺者が死後に訪れる森の番人である少女に「明日あなたは自殺しますよ」というお告げのような夢を見せられます。主人公は明日自殺する予定なんでもちろんない、なのにつの間にかその一日で生死に直面していく……といったオムニバス仕立ての話ですね。

小説としては面白いんですが、題材が題材だけに皆さんどうでしょう。

司会 上手いと思うけど、エンタメという感じではないかな(笑)。

BOX編 私はエンターテイメントとして凄く面白いと思いましたよ！

BOX編 話としてはとても面白いと思ったんですけど、地獄の門番の設定とかこういう語り口自体は昔からよくあるので爽快感みたいなものに欠けると思いましたね。そこがエンタメになりきれないかな、と。

司会 これはアニメにはやはりしづらい題材ですか？

SC 確かに自殺ってアニメでは一番扱いづらいんですよ。今の世の中が「自殺」っていうテーマに凄くセンシティブなので、みんな実際に見る前にそこだけで抵抗を感じてしまうかもしれないですね。

司会 AIRはどうですか？

H田 明日自殺するなんて夢にも考えていない人が、「明日自殺するんだよ」って言われて、「この人どうやって自殺しちゃうんだろう？」って考えながら読者は読み進めることになる。この構造は、凄く面白いですよ！

司会 才能的にはこの人は凄くと思うんだよね。扱っているテーマがテーマなのでちょっと後回しにして次に行きますか。次、『ファントムペイン』。エクソシストの話ですね。悪魔祓いの左手のない女性が出てきて、その人が幻視のチカラで悪魔と格闘するといった話です。小説として文章は練れていないという気はするんですけど、主人公などキャラクターはかっこいいかな、映像映えるかなという感じがしました。編集部側どうですか？

BOX編 凄く類型的な設定ではあるんですが、コンビを組むマダムと少女とのコンビが上手くいけば定番の面白さにはなるかなと思いました。

BOX編 僕も面白いと思いましたけど、落ち着いて読める退魔モノですね。女性のキャラ

なんか面白いですよ。

司会 スターチャイルドさん、どうですかね？

SC ストーリーとしては非常に面白く、一応インパクトもあるかなと思います。逆に、今のインパクトをこの後の展開で超えられるのかというところがこれ以降の楽しみです(笑)。続きがあれば小説で読んでみたいですね。現段階ではアニメ化については難しいというか、向かないかもしれないです。

司会 病気、宗教など難しい部分に触れざるを得ない。それを迂回して上手く面白くもっていきけるかっていうことですかね？

SC そうですね。ただ小説としては非常に面白いと思います。

H田 サブキャラクターに、パラダイーズ・タナカというインチキ霊能者みたいな人が出てきますが、こういうキャラは好きですね。

司会 では次、『黄昏の歌』いきましよう。

BOX編 主人公は小説家志望の若者で、ある日生別した兄の訃報を聞いて家に戻ると、はじめて兄の息子である自分の甥っ子と出会う。で、その少年がいわゆる魍魎を相手に対等にやり合い、主人公が怪異にまきこまれていく……といった感じですよ。

これはご本人のWebに連載しているものらしいので、応募されたのは2話分ですが続きのネタはたくさんあるんだと思います。

司会 ただ、怪異小説としての新しさはないかなという気がしました。スターチャイルドさんはどうですか？

SC 講談社BOXさんのアニメ化作品としては『化物語』がありますし、こういう作品テキストでアニメ化を押ししていくのはアリなのではないかと思いました。この作品については、

アニメにするなら少年のほうを主人公にしていた方が「異能」の部分が引き立つので絵になると思いました。

司会 能力のない主人公よりも、異能の力を持ったその甥を主人公にして作った方がいいということですね。

BOX編 これを直すなら、アニメ向けと割り切ってつくるのが正解なんだろうなと思いますね。小説として読むと少し文章力や構成などの面からまだ物足りないかな、と思いましたけど。編集部で一度直しの方向で作れないか連絡とってみましょうか。

司会 では次いきます。「迷」探偵の犯行記録。借金を背負った父親の肩代わりに、殺人を請け負うことになった主人公が、逆に殺人事件に巻き込まれていく……といった話です。ちよつとトリックとしてつまらないかな、と思ったのですが……（苦笑）。

BOX編 こういった日常ミステリ作品は、江戸川コナンのように強いキャラを作れないと、正直アニメには難しいかと思えますね。週をまたいで何週も犯人探しと推理……となるとやはり視聴者は脱落しますよね。

BOX編 気合が入ったペンネームを見ると「かわいいなあ」って思っちゃうんだけど（笑）。

BOX編 まだ若いし今後に期待ですね。次いきますか。

司会 はい。次は『ソラのクジラ』。宇宙クジラと呼ばれる謎の生命体が未来で生まれ、人類を脅かすことになる。人類はクジラの秘密を説き明かそうと宇宙クジラ観測課を設立する……といった感じのストーリーですね。この作品に関しては編集部では凄く評価が割れました（笑）。

BOX編 ソラのクジラが何者なのか明かさないのが不思議な感じでしたけど、一話も二話も凄くカッチリまとまっていて完成度は高いのかなと思いました。一話は宇宙船とクジラが

逢引きするというような不思議な話で、二話は宇宙船がタイムスリップする話なんですけど、凄くファンタジックなイメージがありました。

司会 宇宙クジラの正体がわかって、最後に何かが起こる！ みたいな話にもっていくのかな？ スターチャイルドさんの評価はいかがでした？

SC 評価は高かったです。映像にするには要検討かなというところですけど。

司会 はい。では次に、『宙のスフィア』。これは壮大なるファンタジーですね。スフィアと呼ばれる惑星で人々が暮らしており、そこで主人公の少年はクオリアと呼ばれる失われた文明をその身に宿すことになる。やがてそのクオリアを狙う勢力に追われ……といったところから始まり、空中戦を経て最後は星の意志を聞く、といった巨大スケールの物語です。

SC このスケールの大きさはジブリでしたね（笑）。

一同 ははははは（笑）。

SC 映像化に関しては、これを書き切れたら凄く面白いと思うんですけどね。ただこれを映像にするには大変です。あとは設定のネーミングが凄くベタなのが気になりますが（笑）。

司会 ファンタジーの用語はセンスがでますよね、そこはもうちょっと工夫してほしいですね。

SC 主人公目線で物語を進めていくと確かにこうなるのも仕方ないとは思いますが、もうひとつ読み手を納得させるリアリティがほしいですね。何をめぐって三つの勢力が争っているのか、もう少し説明がないと主人公が逃げてる理由もなんだかピンとこないなと思いました。

司会 的確な評かなと思います（笑）。次は、『探偵軍師』。

BOX編 軍師が引退後探偵になって事件解決！ というのは面白そうだったんですが、期

待させられた事件部分が一向に話に出てこないのは、連載構造の小説ではまずいですね。

司会 一番大事な推理部分が書かれていないわけですね(笑)。

BOX編 しかし本当に、「探偵が軍師になる」というタイトルそのまままで話が進むことにびっくりしましたよ(笑)。

SC 一国の軍師が日常の殺人事件を解決していくなんて面白い(笑)。

BOX編 しかし事件が起きない!

司会 最後は、『Fortune Girl』。舞台は京都。逢えば幸せになれるという「辻占少女」の噂が巷で流行っているんですが、この少女自体は幸せになるとか占いが当たるかという事は考えておらず、単に神社の仕事がヒマなときに占いを売り歩いているだけ。けれどこの少女と出逢った人は、占いを信じたり信じなかったりすることで、人生がちよつと変わってしまう……といったオムニバス仕立ての話です。

SC この方、まだ十七歳ですか。凄いですねえ。

司会 スターチャイルドさんとしてはどうでしたか?

SC 年齢を考えても荒削りではあるが、発想は非常に面白いです。ただ、オムニバス系の作品なので読みやすいのはいいですが、これがアニメーションになる場合は辻占い少女にも深いカタルシスがあり、尚且つ最後に全てのストーリーが重なるなど、大逆転があると面白いかも。ということの評価はBです。

BOX編 一話目が梶井基次郎の『檸檬』を下敷きにしていますよね。こういう風に名作と掛け合わせるようなフォーマットがあったらもう少し読みやすいかなと思いました。

H田 これからどんどんうまくなって行きそうな人ですね。

司会 では、応募作品の検討がひととおり終わりましたので、この中から講談社BOX-AIR

新人賞を決めたいと思います。どうやって決めましょうか？

BOX編 今回は初めてということもあり、参考までに挙手で票をしてみるのはどうでしょうか。

司会 そうですね。では一人二回まで挙手で！

BOX編 『Suicide Forest』が七票、『ファントムペイン』が三票、『黄昏の歌』が二票、『迷』探偵の犯行記録』〇票、『ソラのクジラ』が二票、『宙のスフィア』が〇票、『探偵軍師』が〇票、『Fortune Girl』が四票です。

司会 〇票は外しますと、残ったのが『Suicide Forest』、『ファントムペイン』、『黄昏の歌』、『ソラのクジラ』、『Fortune Girl』ということですね。このうち、『黄昏の歌』と『ソラのクジラ』が二票で普通だと落とすかなというところなのですが、『黄昏の歌』に関してはスターチャイルドさんの「直しのうえでアニメ化実現の可能性もありうる」という方向では考えたいと思います。

SC ドラマ性、ということだと『黄昏の歌』は一本一本がまとまって作りやすいですね。今回BOX・AIR新人賞をとらなくても後々アニメの可能性が有り得えますよ。

司会 では仮に「スターチャイルド賞」があるとしたらこの『黄昏の歌』をスターチャイルド賞にといいもの？

SC 個人的にはアリだと思います。

映像 アニメについて言うと、この中から一つどれか選ぶというよりはスターチャイルドさんが強烈に「アニメにしたい！」というようなものをスターチャイルド賞（仮）にすべきで、これは毎回出す必要はないと思いますね。

SC そうですね。僕もそういう風に判断させていただきたいです。なので今回『黄昏の歌』

や『ソラのクジラ』を候補作として保留させてもらったうえで、半年から一年スパンで「これぞ!」と思ったものをスターチャイルド賞(仮)としてアニメ化させていただきたいです。でも新人賞は新人賞で、講談社BOXさんが「これは!」と思った小説を選んだらいいと思うんですよ。

BOX編 編集部は小説の視点で評価していてスターチャイルドさんは映像の視点で評価しているので、作品に対してそれぞれのような評価が下ったのかというところをオープンにすれば、新人賞を受賞しなくても投稿した人たちの貴重な財産になるのではないですかね?
一同 うんうん。

司会 アニメ化の検討候補作として、この二本を発表することはできますか?

SC そうですね。この二作はスターチャイルドの評価が高かったということを発表させていただいて、ただ、アニメ化するかどうかはもう少し全体を見てからある程度の期間の中で決めたいです。その該当候補作の一つとして、この二作を発表させていただきたいです。

BOX編 『ソラのクジラ』は非常に完成度が高くて、多分この人はアニメの脚本なんかも書けると思います。

司会 『黄昏の歌』の方は少年を主人公にして、もう一度書き直してもらおうということで著者に会ってみましようか。では残り三本、『Suicide Forest』、『ファントムペイン』、『Fortune Girl』の中から論議をして新人賞を決めたいと思います。僕としては『Fortune Girl』の著者は十七歳で才能もあると思っています。そして『Suicide Forest』も二十歳と若手で今のところ票が一番多いですが、この二作品についてどうしますか?

BOX編 『Suicide』よりは『Fortune』を推したい。新人賞の受賞作は「Yes」を世の中に発信したいもの。

司会 なるほど、では『ファントムペイン』はどうですか？

BOX編 面白いんですけど、ここから世界観がどこまで広がるのかまだわからないです。さつきスターチャイルドさんが言われていたように、このインパクトを超えられるかっていうのは未知数ですよ。

司会 連絡して続きをもう少し書いてもらった上で、再検討というのでいかがでしょうかね。では残った『Suicide Forest』と『Fortune Girl』の二択です。

BOX編 新人賞の第一回目の印象って確かにすごく大事で、「この方向でアニメ化狙えるんだ！」って読者に固定観念与えてしまうのはBOXとしてもスターチャイルドさんとしても本意ではないですよ。

SC まあ先ほどの話になっちゃうんですけど、スターチャイルドが推すアニメを前提とする作品と、小説としての面白さから講談社BOXが推す作品は違うということですね。

BOX編 まあ第一回目から全員が一致して推すなんていう方が不自然だよ。

BOX編 『Suicide Forest』はイラストが付けづらいというか、映像が想像しにくいですよ。ねえ……。

SC 『Fortune Girl』の方がイラストや映像は想像しやすいですね。

司会 小説の評価としては同等くらいですね。

BOX編 ただ文章は、『Suicide Forest』の方が読ませる工夫はしてる……。ムズカシイところですよ。

司会 では『Suicide Forest』か『Fortune Girl』で決選投票をします！ どちらかに挙手をお願いします。お、なるほどー。では、『Fortune Girl』が第一回BOX-AIR新人賞という事で、決定ですー！

では第一回新人賞選考会議はこんなところですかね。AIR、BOX編集部からまとめとしてなにかあります？（笑）

H田 まだ知られていない才能を世に問うことってすごく大事ですが、今まで雑誌が大きな役割を果たしてきました。デジタルであることで雑誌が復権するようになるといいな、とみなさんの話を聞いて思います。

BOX編 小説とアニメの面白さをすり合わせることは必要だと思うんですけど、一緒にくっついていくなかで出てきた色々な違いをオープンにするのがこのプロジェクトの意味でもあると思うので、あまり一つにまとめる必要もないのかなと思いました。なので、編集部もスターチャイルドもAIRも自分の意見には自信をもって積極的にやっていければいいと思います。

司会 はい。ではこれで終わります！ ありがとうございました。

一同 ありがとうございます！

※このあと講談社映像制作部部長を交えて、今後の具体的なBOX・AIRの掲載から単行本、アニメ化までの流れを検討し確認。

そして一致したのが「選考過程はどんどんオープンに伝えていくのがいいよね！」

…という訳で

【次回予告】

えっ、次回から選考の様子はUstreamで中継?!
未曽有のオープンすぎる選考過程。

来るか第二回応募原稿!?（※投稿者のプライバシーにはもちろん配慮します）

ご購入はこちらから

本編は、こちらで購入できます。

■講談社BOX編集部が手がける電子雑誌「BOX-AiR」創刊！

「BOX-AiR」は、西尾維新氏の「化物語」シリーズなどで知られる講談社BOXと、各界の著名なクリエイターが個人として集まり作り上げられた電子書籍「AiR」、そして「新世紀エヴァンゲリオン」など多数のヒット作を手がけるスターチャイルドが、新しい才能発掘を目指して創刊した電子雑誌です。

＜アニメ化作品を発掘！！「BOX-AiR」の特徴＞

新しい才能の発掘と育成を目的としている点は従来の文芸雑誌と変わりありませんが、最大の特徴は掲載原稿の募集を公式サイトで行い、ひと月単位で選考を行った上で、掲載される点。

また、毎号スターチャイルド制作グループを交えて掲載作品のアニメーション化が検討され、連載が単行本1冊分掲載された作品については、講談社BOXから紙の書籍として単行本化されます。

BOX-AiR零号/講談社BOX-AiR

価格：350円

パプー版（パソコン・PDF・ePub）：<http://p.booklog.jp/book/18527>

iPhone・iPadアプリ版：<http://itunes.apple.com/jp/app/id415281243?mt=8>